

コラム

阿寒のカワヂシャはカワヂシャモドキだった

滝田(2001)北海道植物図譜p.849掲載、阿寒町オクルシベのカワヂシャ *Veronica undulata* を探しに2019年8月に出かけた。カワヂシャは長年気になっていた種であるが、夏に阿寒方面に出かける機会が無く、出会えていなかった。7月7日の道東調査の帰りにも探したが場所が分からなかったのもう一人の本種の掲載者(北海道の草花 p.296 2018)である梅沢俊氏に確認場所を問い合わせたところ「国道240号線の阿寒川左岸から水際」との情報もらい、8月3日にやっと確認できた。

阿寒で確認された個体は花柄が無毛であるため、カワヂシャではなくカワヂシャモドキ *V. catenata* となった。清水(2003)日本の帰化植物 p.190 ではカワヂシャの花柄には腺毛があり、カワヂシャモドキの花柄は無毛と報告されている。

カワヂシャモドキは遠浅川、沙流川右

岸、新冠川河口左岸などで確認済みの外来種である(●印)。この属に詳しい東京大学附属植物園特任研究員の根本秀一氏から頂いた標本情報では国土地理院2.5万分の1地形図名：駒ヶ岳(駒ヶ岳温泉ちやっぷ林館周辺)にもあるようなで今後、現地確認に出かけたい(○印)。

日高町にお住まいの高橋誼氏から同属のオオカワヂシャ *V. anagalis-aquatica* 情報があったので詳しい場所を教わり日高町沙流川左岸河口水路を調査した。これもカワヂシャモドキであった。オオカワヂシャは和名のとおり花が大きくサイズはオオイヌノフグリと同じ大きさ、花色は濃い紫色との情報と画像を根本氏から貰っていた。カワヂシャモドキの花は小さく、淡い水色である。カワヂシャモドキは今後も道内各地での確認が増えそうだ。

(五十嵐 博)



図1 カワヂシャモドキの北海道分布 2019



図2 カワヂシャモドキ 2019. 6. 20
苫小牧市遠浅川